

オープンプラン6年生 算数 『対称な図形』 ～つりあいのとれた形を調べよう～

線対称・点対称の学習を行いました。

対称の軸を折り目として二つ折りにしたときに、ぴったり重なる図形を、線対称と言います。その線対称に対する感覚を豊かにするため、線対称の模様作りの活動を行いました。

まずは、B4サイズの色画用紙と、その半分のサイズの違う色の色画用紙を用意します。

半分のサイズの色画用紙に、切り抜いて並べた時に模様が完成するように、自分の好きな模様の片側（半分）だけをデザインします。

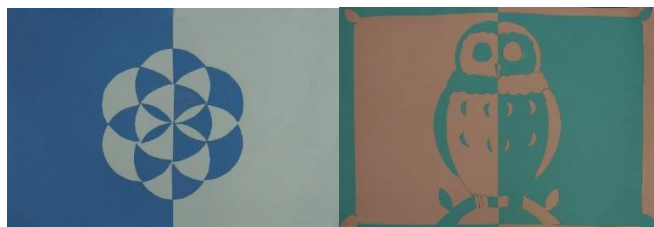
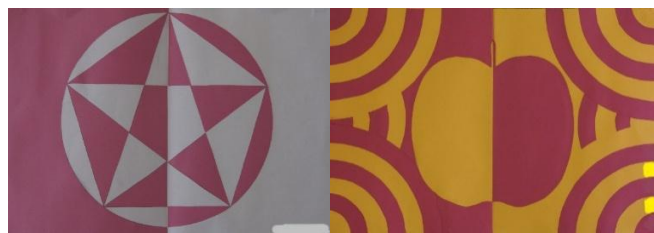
その模様を切り抜き、B4サイズの色画用紙の上で、切り抜いた絵柄をもう半分に並べていきます。



きれいに模様が浮き上がるためには、切り抜いた模様を互い違いに並べられるようにデザインしなければならず、子どもたちにとって、それを想像しながら作業を進めることは、なかなか難しかったようです。

また、切り抜いた模様が、対称の軸を折り目として二つ折りにしたときにぴったり重なるためには、元の

画用紙を当ててみるなど、きちんと位置を確かめなければなりません。そういったことにも苦労しながら、子どもたちは模様作りを行っていました。



さらに、アルファベットを使って対称の学習を進めました。配布したアルファベット表を見ながら、線対称な図形で描くことができるアルファベットを見つけ出し、それをマス目のある紙に作図していきます。みんなで作図したアルファベットをホワイトボードに貼っていき、仲間分けをしました。そうすると、その中から、一つの点のまわりに180度回転させても、もとの図形にぴったり重なる形＝点対称な図形、が見えてきます。

子どもたちが作図したアルファベットは、対応する点や対応する辺を見つける活動や、点対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通ることを学習する活動などに利用しました。



参考文献…『算数好きにする教科書プラス坪田算数6年生』 坪田耕三著 東洋館出版社